

< 2015.7.16日: リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 平成27年度第1回3R連絡会 >

3R推進団体連絡会

第二次自主行動計画2014 年フォローアップ (2013 年度実績)報告

< 3R推進団体連絡会とは、容器包装の素材に係るリサイクル 8団体で構成 >

ガラスびん 3R促進協議会
PETボトル リサイクル推進協議会
紙製容器包装 リサイクル推進協議会
プラスチック容器包装 リサイクル推進協議会
スチール缶 リサイクル協会
アルミ缶 リサイクル協会
飲料用紙容器 リサイクル協議会
段ボール リサイクル協議会

3R推進団体連絡会・幹事 中田 良平

3R推進団体連絡会と自主行動計画

容器包装リサイクル法改正の審議過程

消費者・自治体・事業者等
の役割の徹底深化が重要

消費者・自治体・事業者等
各主体間の連携強化が重要

3 R 推進団体連絡会の結成：2005年12月

第一次 自主行動計画（2006～2010年度）
（2006年 3月公表）

第二次 自主行動計画（2011～2015年度）
（2011年 3月公表）

I. 事業者による3R推進に向けた自主行動計画

第二次 自主行動計画 推進目標

Reduce リデュース

- 軽量化・薄肉化による使用量削減（数値目標）
- 適正包装の推進
- 詰め替え容器の開発

Reuse リユース

- リユースびん市場開拓などの取り組み
- 連携強化に向けた取り組み

Recycle リサイクル

- 回収率・再資源化率の向上（数値目標）
- 容器包装の資源循環性の向上
- 消費者への広報・啓発の推進
- 多様な「回収」の拡大に向けた研究・支援

Ⅱ. 主体間の連携に資する取り組み

消費者に対する普及啓発活動や、各種調査・研究活動への参画・実施を通じ、**消費者・自治体・国**等との連携に資する取り組みの展開。

関係八団体共同の
取り組み

容器包装廃棄物の 3R推進普及啓発のため、

- 情報共有・意見交換の場の充実
- 広報・啓発事業の拡充
- 調査・研究事業の実施

各団体が取り組む
共通のテーマ

- 情報提供・普及啓発活動の実施
- 調査・研究事業の実施
- サプライチェーン事業者間の連携

容器包装3Rの2013年度実績

3 R 推進の進捗状況

Reduce
リデュース

軽量化・薄肉化は、継続して進展

Reuse
リユース

各主体との連携した取り組みを推進

Recycle
リサイクル

目標に向けて進展、高水準を維持

リデュースの取り組み

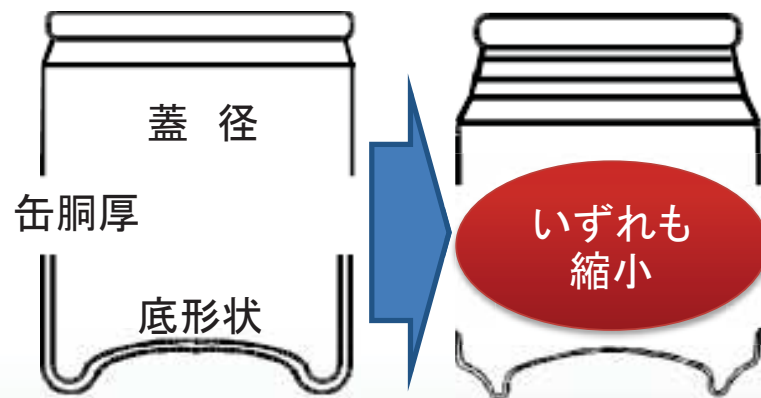
2015年度目標に向け、
着実に進展しています



プラスチック容器包装の削減



紙パックの軽量化



金属缶の軽量化

リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減（数値目標）

素材	2015年度-目標 (2004年度比)	2013年度-実績	2006年度からの 累計削減量
ガラスびん	1本当りの平均 重量を 2.8% 軽量化	1.7%	163千トン
PETボトル	指定PETボトル 全体で 15% の 軽量化効果	14.1%	333千トン
紙製容器 包装	総量で 11% の 削減	9.6%	915千トン
プラスチック 容器包装	削減率で 13%	13.0%	61.7千トン

リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2015年度-目標 (2004年度比)	2013年度-実績	2006年度からの 累計削減量
スチール缶	1缶当り 平均重量 で 5% 軽量化	5.7%	140千トン
アルミ缶	1缶当り 平均重量 で 4.5% 軽量化	4.1%	60千トン
飲料用紙容器	牛乳用 500ml 紙パックで 3% 軽量化	1.6%	419トン (2011年 9月から削減)
段ボール	1m ² 当りの 平均重量で 5% 軽量化	3.8%	1,310千トン

リユースの取り組み

市民・自治体・
事業者との連携した
取り組みを進めています



リターナブルびん利用促進
モデル事業(2008年度)

福島県における容器リユースモデル実証事業

リサイクルの取り組み

着実に回収率等が向上しています。

<底部>
罫線の形成によりつまんで
解体しやすくした



紙製容器包装の改善事例



スチール缶 集団回収
への支援



PETボトルから
PETボトルへの
再生 (B to B)



「びんとびん」リサイクルの
動画での広報

リサイクル率・回収率等の維持・向上（数値目標）

素 材	指 標	2015年度 目 標	2013年度 実 績
ガラスびん	リサイクル率 (カレット利用率)	70%以上 (97%以上)	67.3% (99.0%)
PETボトル	リサイクル率	85%以上	85.8%
紙製容器包装	回収率	25%以上	23.5%
プラスチック 容器包装	再資源化率	44%以上	44.4%

リサイクル率・回収率等の維持・向上(数値目標)

素 材	指 標	2015年度 目 標	2013年度 実 績
スチール缶	リサイクル率	90%以上	92.9%
アルミ缶	リサイクル率	90%以上	83.8%
飲料用紙容器	回収率	50%以上	44.6%
段ボール	回収率	95%以上	99.4%

連携のための共同の取り組み

八団体共同の取り組み フォーラムの開催

市民・自治体との連携で、より良い容器包装の3R推進制度構築を目指す

2013年度 容器包装3R推進フォーラム in 川崎

- **開催:2014年 2月20日**
川崎市産業振興会館
- **自治体、消費者および事業者**
約140名の来場者。
- **国の政策動向、各種先進事例**
の報告、3Rの各セッションで討議



2014年度は品川区で開催（2014年12月15日）
容器包装3R推進フォーラム in 品川

八団体共同の取り組み **容器包装3R 交流セミナー**

- **容器包装に関する事業者の取り組み等の情報提供と意見交換・啓発の場の提供**
- **3R活動推進にあたっての問題解決や協働の取り組みのきっかけづくりを目指した場の提供**
- **これまで7都市で開催、284名にご出席頂きました。**

2013年度 岡山市、富山市、東京都

出席者：市民26名、行政44名、事業者56名：計126名

2014年度 長野市、松山市、名古屋市

出席者：市民25名、行政40名、事業者56名：計121名

2015年度 静岡市、福井市、さいたま市

出席者：市民8名、行政11名、事業者18名：計 37名

(2015年度：静岡市の出席者数のみ記載・福井市10月、さいたま市1月開催予定)

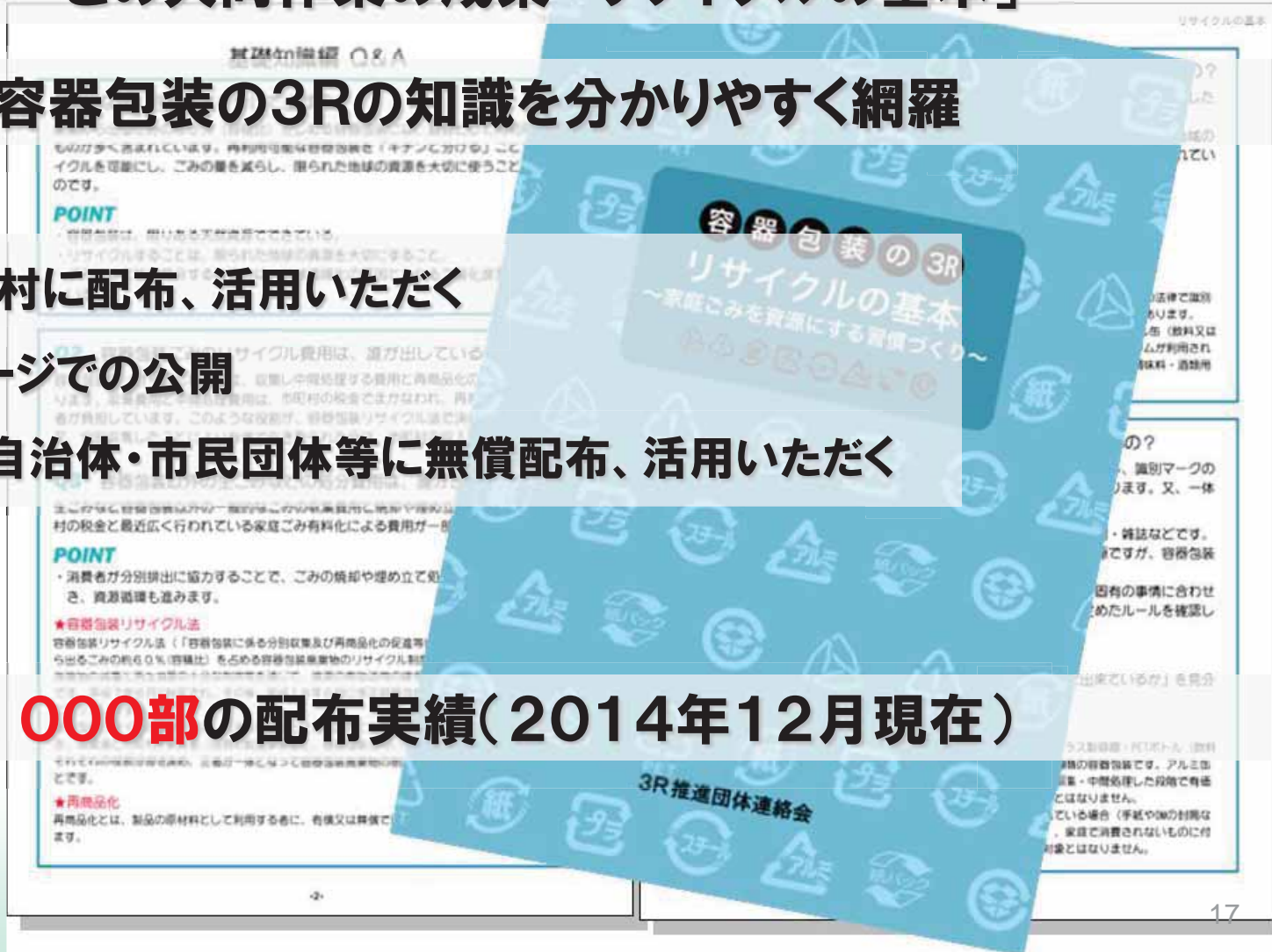
八団体共同の取り組み 小冊子「リサイクルの基本」の配布

● 市民リーダーとの共同作業の成果「リサイクルの基本」

● 八素材の容器包装の3Rの知識を分かりやすく網羅

- 全国市町村に配布、活用いただく
- ホームページでの公開
- 希望する自治体・市民団体等に無償配布、活用いただく

● 累計約9,000部の配布実績(2014年12月現在)



リサイクルの基本「地域版」ワークショップ

- 冊子「リサイクルの基本」:
消費者リーダーとの交流会の
成果の1つ

- 冊子「川口市版」:
市民リーダーにより作成・完成



3R推進市民リーダー育成講座

- 市民と事業者の連携の基礎づくり・相互理解促進、情報発信
- キーパーソン(市民リーダー)育成・支援
- 具体的連携のためのプログラムづくり
- 2011年度から2013年度にかけて、都内の3R市民リーダーの方々がイベント等で寸劇やゲームを通じて分別排出やリサイクルについて市民にわかりやすく伝える講座プログラムを作成
- 2014年度は相模原市、国分寺市の市民・行政と連携し、リーダー育成を継続



八団体共同の取り組み

展示会への出展

エコプロダクツ



2007年度

**2014年度は、12月11～13日
東京ビッグサイトで開催**

2011年度



八団体共同の取り組み

ホームページによる情報発信

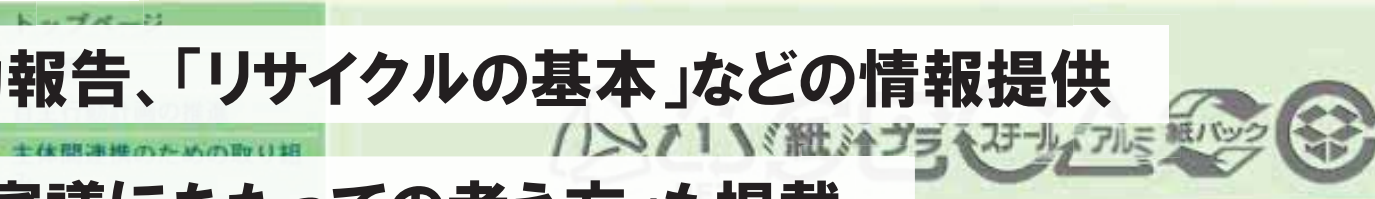


●2008年 5月開設

●これまでの活動報告、「リサイクルの基本」などの情報提供

●「容り法見直し審議にあたっての考え方」も掲載

容器包装の3R推進のために



私たちのホームページへようこそ

3R推進団体連絡会は、容器包装リサイクル法に関連する事業者団体が連携して、容器包装の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めるために結成されました。

■新着情報

当連絡会の新パンフレットができました。

当連絡会の成り立ち、活動などを紹介する新しいパンフレットができました。こちらのページ、または左側のリンクから閲覧、ダウンロードできます。

第7回容器包装3R推進フォーラムを開催します

今年で7回目となる容器包装3R推進フォーラムは、「容器包装3Rの将来」と題し、2012年11月1日～2日の2日間、仙台市にて開催します。フォーラムの詳細及び申し込みはしくはこちらのページからどうぞ。(別ウィンドウが開きます)

容器包装リサイクル法の見直し審議にあたっての考え方を掲載しました。



おわりに

**市民・行政・事業者の連携協力は、
今後も益々重要です。
3Rのさらなる推進に向け、
引続き連携協力してまいりましょう。**

ありがとうございました。